



◆発行：NPO 法人 Present Garden to
〒655-0043 神戸市垂水区南多聞台 1-5-11
TEL：078-785-1516 FAX：078-785-1539
E-mail：present-g@hi-net.zaq.ne.jp
H P：http://www.present-g.com
◆代表者：理事長 高野 喜恵

壁

理事長 高野 喜恵

新しい年を迎えたかと思うと、もう新年度に突入。

庭は早咲きチューリップが並び、花々で溢れています。まじまじと庭を見直すとブルーと黄色のコントラストが目立ちます。これからは刻々と色は変化し、今春も二度と同じものはつくれない唯一のガーデンです。

メンバーの半数以上が十数年を共に過ごしています。毎年、多くの出来事を通して深く交わって参りました。その中で見落としていたことがあるような気がします。それは障害の有無に関わらず私達の心の奥深くに潜むものです。

・こだわり

— どうでもよいことに懸命になり、大切な物を見失っている。

・甘え

— 自分がやらなくても誰かが助けてくれると思こんでいる。

・自分への絶対視

— 自分は優秀でできないことはないと思っている。

・架空のプライド

— 現実離れたプライド。

・アンビバレンス

— 自分はすごくできると思う反面できないと指摘されることを恐れている。

私自身のうつを経験の中、カウンセリングを通してこのような自分の内面に気づかされました。



狩場台ミニコンサート

そしてそれらはすべての人にあるようにメンバーの心にも存在しています。

ただ、障害を持つ彼らに対して、周りの者は「障害を持っているからかわいそうだ」とその場しのぎで手を出して助け、「何かしてあげたい」と思ってしまいます。それはもちろん人を思う素晴らしい気持ちですが、時に彼らのやること、できること、努力するきっかけを奪ってしまうことにならないでしょうか。

「それは障害を持っているから・・・」
そうではありません。心の中に潜むものをしっかりと見据えて、自分の存在について知らなければなりません。

それには強い壁、何度もぶち当たっては押し返され、乗り越えるまで立ちほだかり、自分で何とかしなければ、行く手を塞ぐような壁が必要です。その壁の向こうに素晴らしい世界があるからです。



役務

私が彼らと共にその世界を見ることができたように、メンバーの努力のかたわらにいて、それぞれの新しい世界を共に味わいたいものです。

心がひっくり返るような体験を経て、「園芸と音楽とカウンセリング」で始めたプレゼント・ガーデンですが、15年の私のうつの経験が今、大きな役を担っているように感じています。



3B 体操



スキーキャンプ



出会いに感謝

高野さんとの出会いは20年ほど前、カウンセリング講座を受講した際に同じグループになったことがきっかけでした。三宮から舞子へ帰る電車の中で、園芸療法の作業所設立のビジョンを熱っぽく語る彼女のエネルギーに圧倒されたことを今でも覚えています。そして明舞ホールでの設立記念講演会のご案内が届いた時は「すごい！有言実行！」と感動しました。その時「何か協力できることは？」とケーキの提供を申し出たのが、PGでのボランティアの始まりでした。2ヵ月に一度、アンクルン練習日の昼食作りを2名のお母様と一緒にしています。昼食作りで一番テーマにしていることは、

アクルン昼食会ボランティア 斎藤 二三子
旬の野菜をたくさん使った季節感のある献立です。

「何種類の野菜が入ってる？」「色がきれい！」のメンバーの声、「また家でも作るわ」のお母様の声は何よりの励みです。30食を2時間で作りますが、お母様が手八丁口八丁手早いので、最近は情報交換やお茶を飲む余裕も出てきました。メンバーの「おいしかった！」の笑顔、お母様方と交流しながら調理すること、PGに関わる多くの方々と触れ合う中でメンバーやPG自身の成長を見せていただくのは本当に嬉しく、楽しいことです。多くの方々との出会いに感謝しつつ、ささやかだけど好きなことでこれからも関わらせてくださいね。



先日、異なるリズムの100台のメトロノームが徐々に同じリズムを刻んでいく映像をテレビで見ました。異なる障害、問題等を持つプレゼント・ガーデンのメンバーが少しずつリズムを合わせ、少しずつ同じ方向へ向かおうとする様子と重なり感無量でした。

入所してあっという間の6年で、最後まで抵抗し、異なるリズムを刻んできた

保護者 志水 千代美

娘、美保も皆様のおかげで最近やっとメンバーの一員になれた気がします。メンバーのお母様も個性豊かな楽しい方々で、また結束力の強さには驚かされます。今年度から、保護者会会長として活動する私にとって力強い方々ばかりです。御指導宜しくお願い致します。



感謝

押し花 福島 麻知子先生

藤田喜代子先生に代わって押し花を長く教えて楽しませて下さいました。

そのための下準備たるや驚くほどの手間と時間をかけておられ、毎回頭の下がる思いでした。先生は「こんなことをするのが大好きなんです」と。

そして出来上がったメンバーの作品をほめてほめて褒めちぎって下さいました。

本当にステキな時間を失ってしまったような...



でも先生の作品が日だまりに飾られて、忘れられない「時」となっています。



認定NPO法人をめざして!!

小さいながらも事業所としての在りかたに日々悩む中、信頼と皆様からの安心を得るために、市に認証を受ける「認定NPO法人」取得を目指すことにし、現在申請中です。市内900近くあるNPO法人の内「認定NPO法人」は10団体ほどしかないという難関で、多くの課題をクリアしていかなければなりません。適正な運営を行っていることはもちろんのこと、支援者の方々のご寄付によって支えられていることを示す必要があります。

その判断基準の一つとして年間100人の方々から3,000円以上のご寄付を受けているという条件があります。是非、皆様のご協力をお願いしたいと存じます。

